

第1節 国民・企業における利用状況

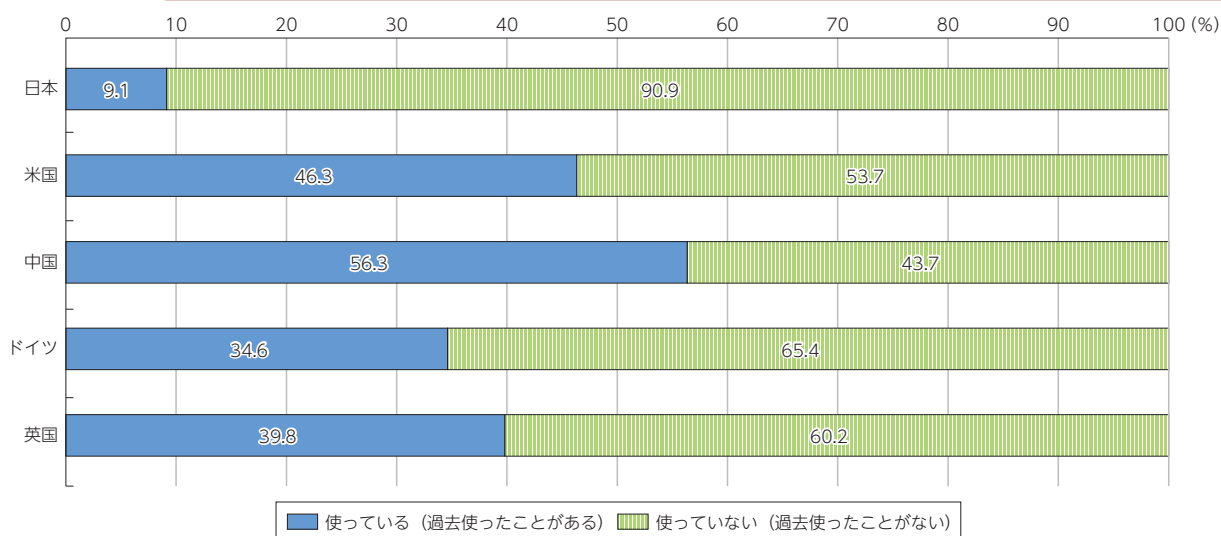
1 生成AI

1 国民向けアンケート

国内外で議論を巻き起こしつつも、利用者の拡大を続けてきた生成AIのサービスは、国民生活にどの程度浸透しているか。総務省は、日本、米国、中国、ドイツ、英国の国民を対象に、生成AIを含む“デジタルテクノロジー”の利用状況等のアンケート調査を実施した。

これによると、生成AIを“使っている”（「過去使ったことがある」も含む）と回答した割合は日本で9.1%であり、他国と比べて低かった（図表 I-5-1-1）。

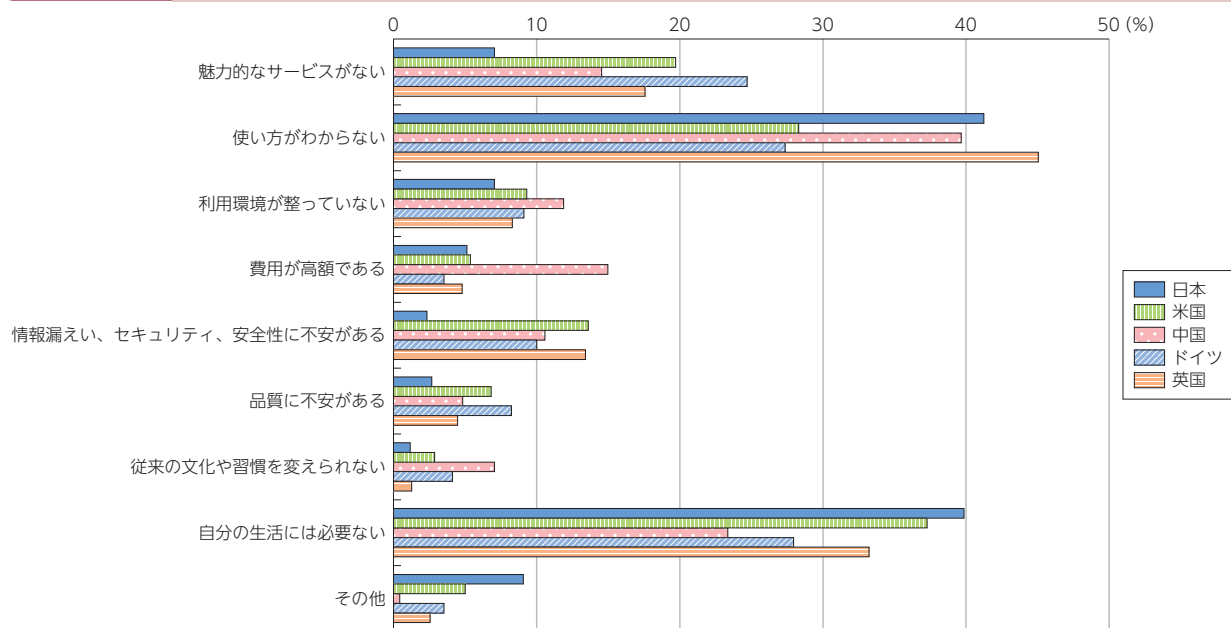
図表 I-5-1-1 生成AIの利用経験



（出典）総務省（2024）「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

使っていない理由については、各国とも「使い方がわからない」、「自分の生活には必要ない」との回答が多く、「情報漏洩、安全性、セキュリティに不安がある」との回答の割合は低かった（図表 I-5-1-2）。

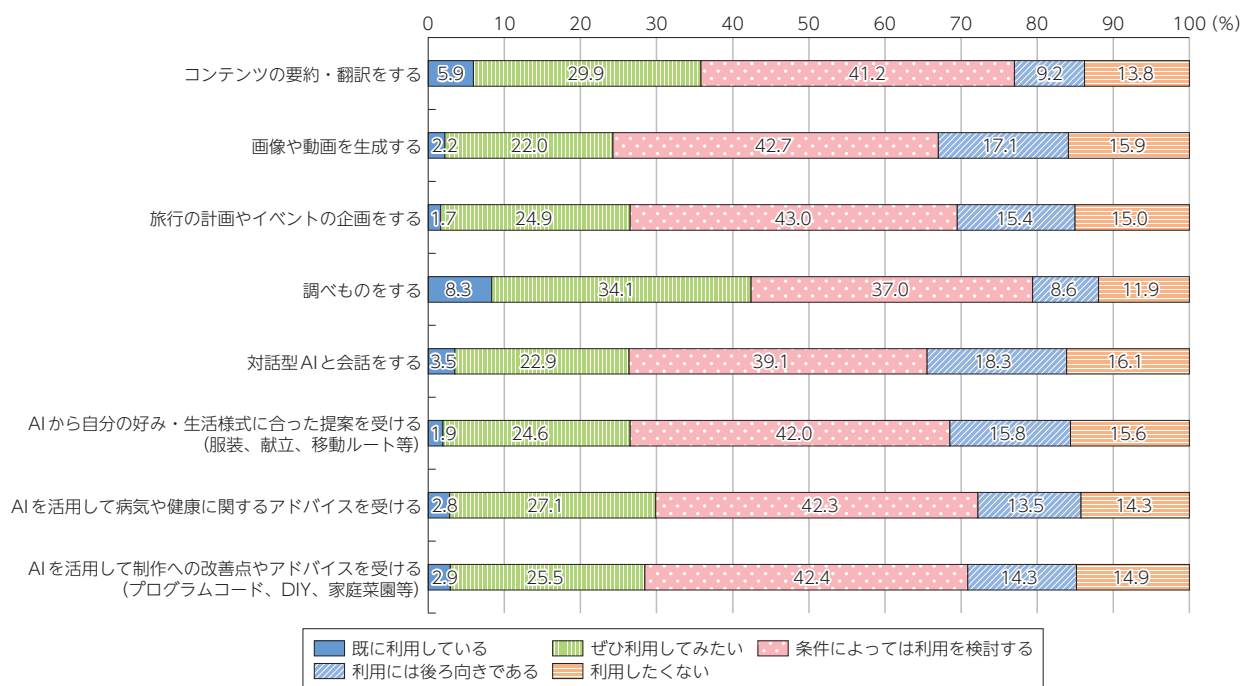
図表 I-5-1-2 生成AIを使わない理由



(出典) 総務省 (2024)「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

一方、今後の暮らしや娯楽における生成AIの活用意向について聞いてみると、日本では「既に利用している」と回答した割合は低いものの、「ぜひ利用してみたい」「条件によっては利用を検討する」と回答した割合は6～7割程度あり、潜在的なニーズがあることがうかがえた（図表 I-5-1-3）。

図表 I-5-1-3 生成AIの利用意向



(出典) 総務省 (2024)「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

関連データ 生成AIの利用意向（項目別）

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00060>
(データ集)

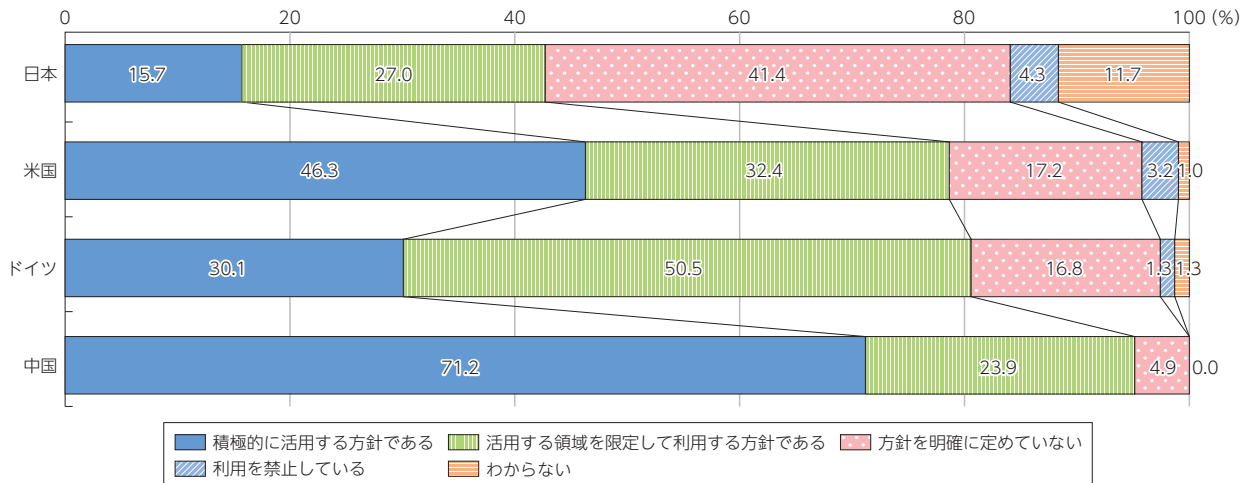


2 企業向けアンケート

次に、各国の企業を対象に、業務における生成AIの活用状況を尋ねた。

生成AIの活用方針が定まっているかどうかを尋ねたところ、日本で“活用する方針を定めている”（「積極的に活用する方針である」、「活用する領域を限定して利用する方針である」の合計）と回答した割合は42.7%であり、約8割以上で“活用する方針を定めている”と回答した米国、ドイツ、中国と比較するとその割合は約半数であった（図表 I-5-1-4）。

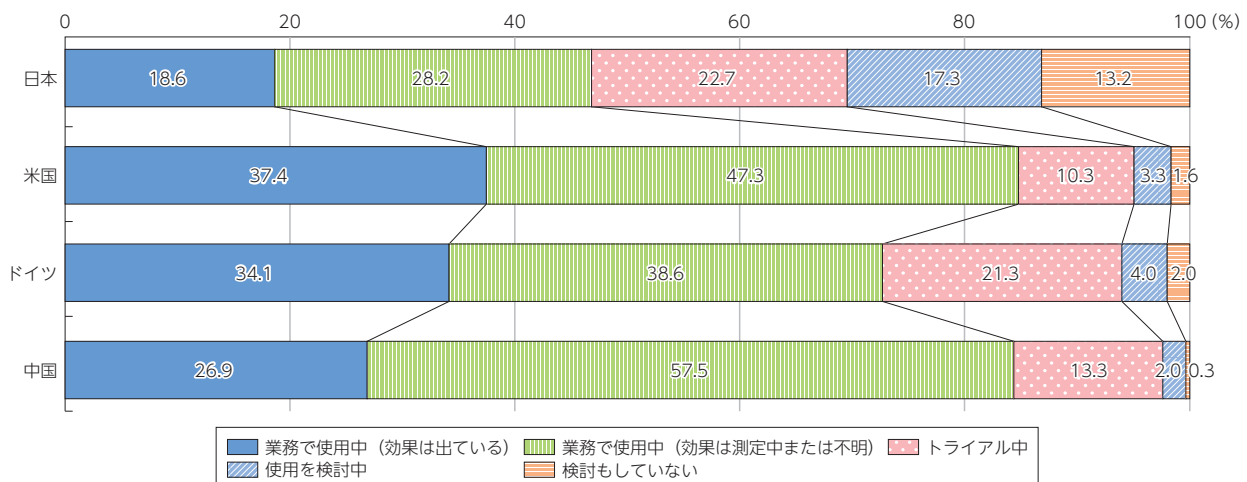
図表 I-5-1-4 生成AIの活用方針策定状況



（出典）総務省（2024）「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」

次に、生成AIの活用が想定される業務ごとに活用状況を尋ねたところ、例えば、「メールや議事録、資料作成等の補助」に生成AIを使用していると回答した割合は、日本で46.8%（“業務で使用中”と回答した割合）であり、他国と比較するとその割合は低い。“トライアル中”までを含めると、米国、ドイツ、中国の企業は90%程度が使用しており、海外では、顧客対応等を含む多くの領域で積極的な利活用が始まっている一方で、日本企業は社内向け業務から慎重な導入が進められていることがわかった（図表 I-5-1-5）。

図表 I-5-1-5 業務における生成AIの活用状況（メールや議事録、資料作成等の補助）



（出典）総務省（2024）「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」

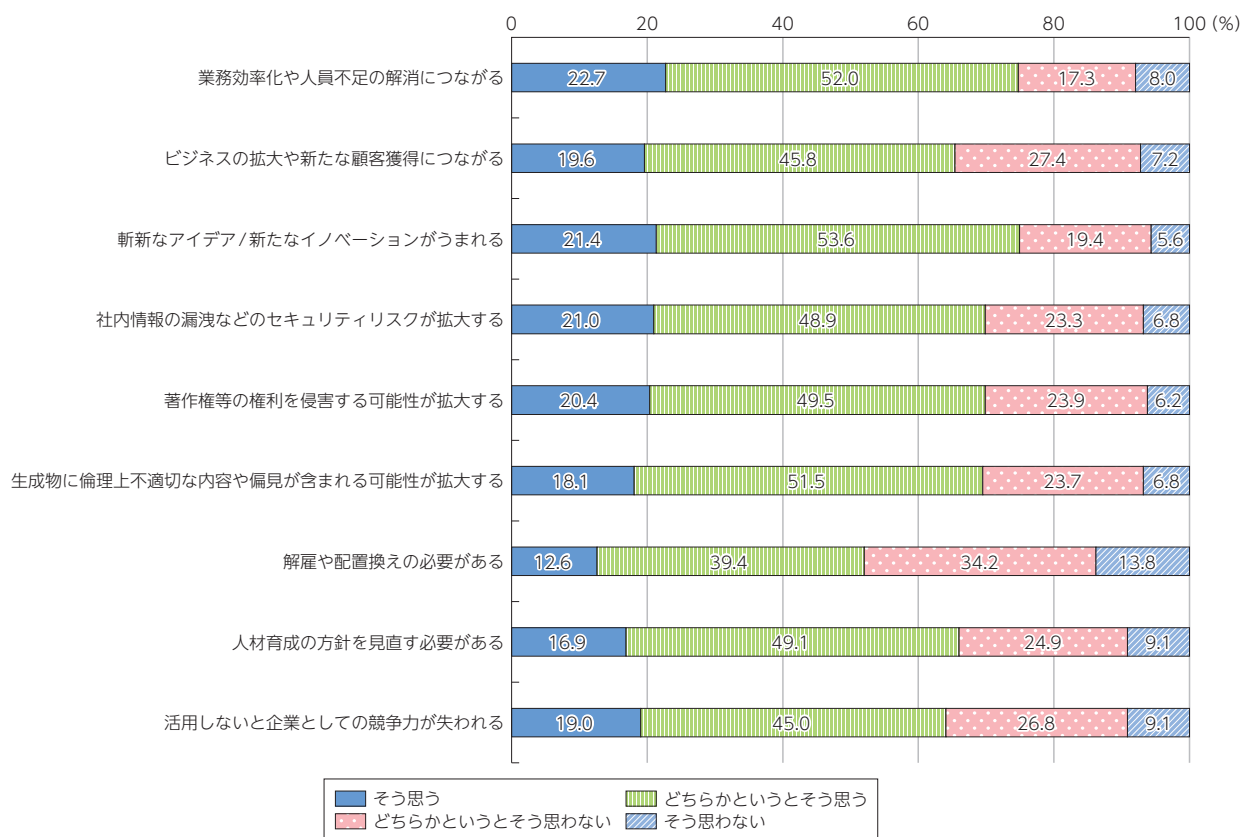
関連データ 業務における生成AIの活用状況（他の業務）

URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00063
（データ集）



生成AI活用による効果・影響について尋ねたところ、約75%が“業務効率化や人員不足の解消につながると思う”（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）と回答していた。一方、“社内情報の漏洩などのセキュリティリスクが拡大すると思う”、“著作権等の権利を侵害する可能性があると思う”と回答した企業も約7割であり、生成AIのリスクを懸念していることがうかがえた（図表 I-5-1-6）。

図表 I-5-1-6 生成AI活用による効果・影響（日本）



（出典）総務省（2024）「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」

関連データ 生成AI活用による効果・影響（項目別）

URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00065
（データ集）

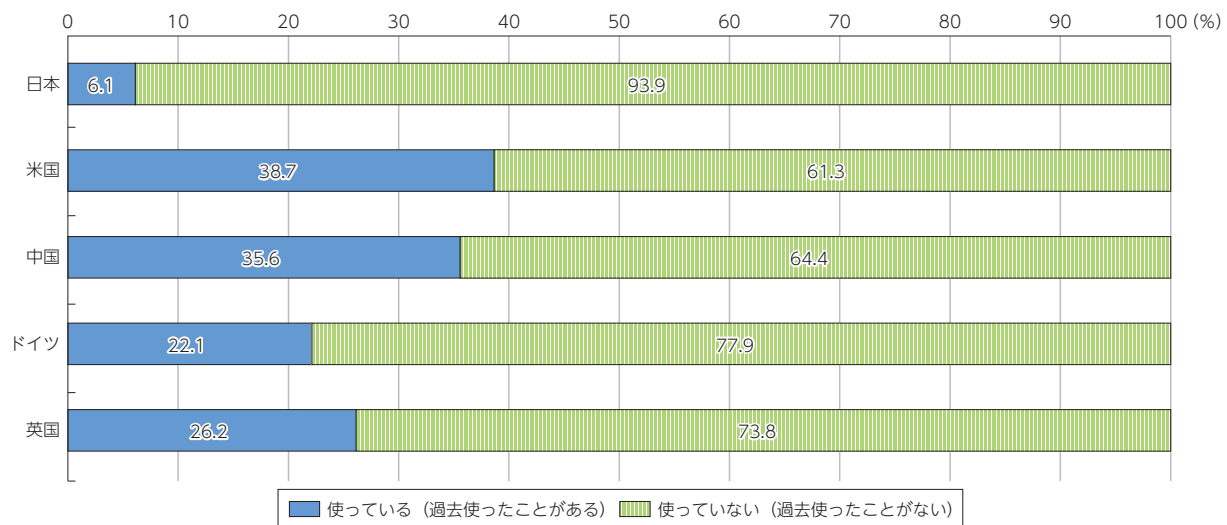


2 メタバース

1 国民向けアンケート

メタバースの利用経験について聞いたところ、“使っている”（過去使ったことがあるも含む）と回答した割合は日本は6.1%と低かった（図表 I-5-1-7）。

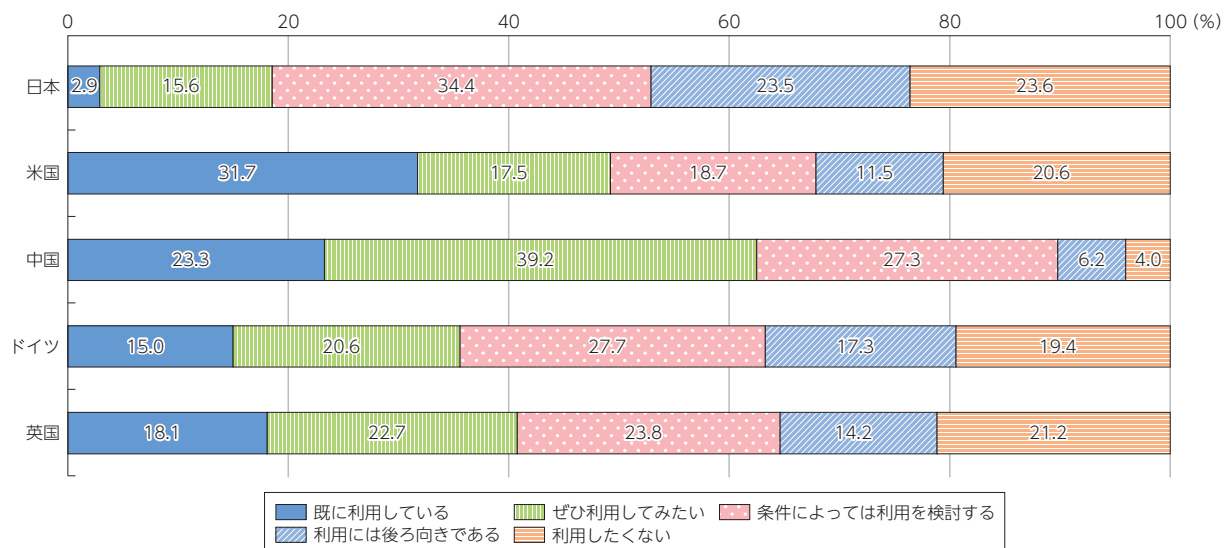
図表 I-5-1-7 メタバースの利用経験



(出典) 総務省 (2024)「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

活用シーンごとの利用状況・意向を聞いてみると、「仮想空間上でのユーザー同士のコミュニケーション」を「既に利用している」と回答した割合は日本で2.9%と、約15~30%がすでに利用している他国と比べると低い結果となったものの、今後の利用に前向き（“ぜひ利用してみたい”、“条件によっては利用を検討する”）な回答と合わせると52.9%と、潜在的な利用ニーズがあることがうかがえた（図表 I-5-1-8）。

図表 I-5-1-8 メタバースの利用意向（ユーザー同士のコミュニケーション）



(出典) 総務省 (2024)「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

関連データ メタバースの利用意向（他の利用場面）

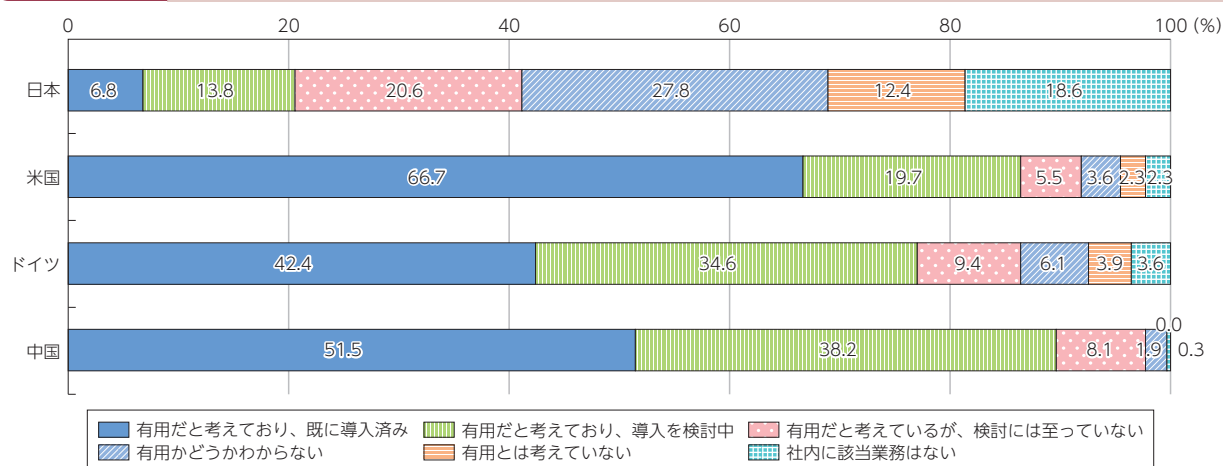
URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00068>
(データ集)



2 企業向けアンケート

各国の企業に、メタバース・デジタルツインの業務での活用について、「商品開発」、「製造」、「物流」等の業務別に導入の検討状況を尋ねたところ、「有用だと考えており、既に導入済み」と回答した割合はいずれの業務でも日本では10%未満となっており、約45～60%が導入済みと回答した米国に比べて低くとどまっていた（図表 I-5-1-9）。

図表 I-5-1-9 仮想空間の業務での活用に関する検討状況（商品開発）



（出典）総務省（2024）「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」

関連データ 仮想空間の業務での活用に関する検討状況（他の業務）

URL： <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00070>
（データ集）

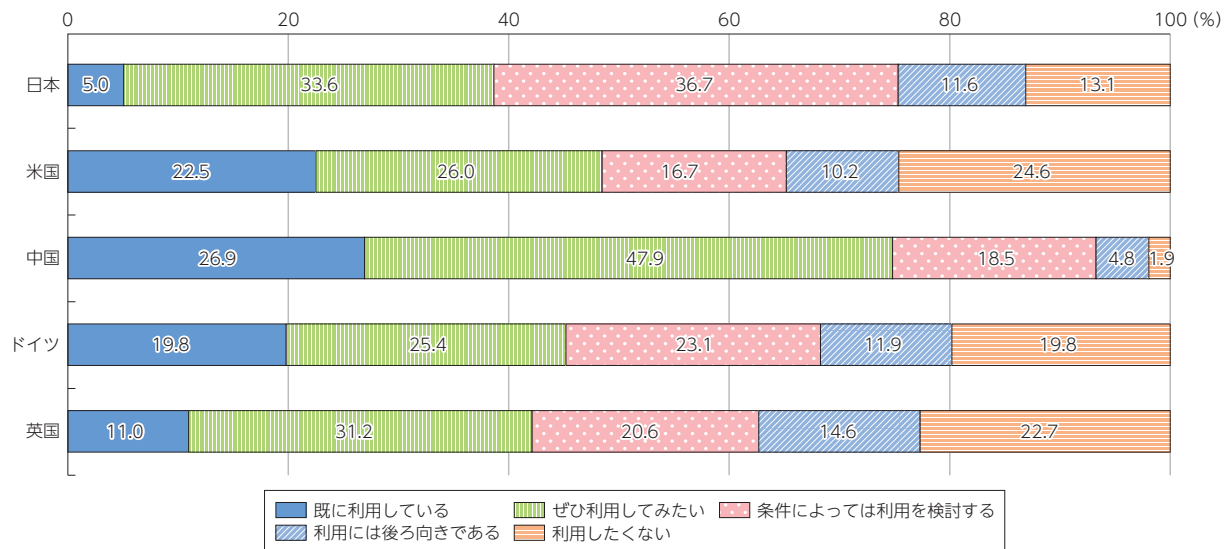


3 ロボティクス

各国の国民の暮らしや娯楽におけるロボット利用に関する意識を調査するため、ロボットの利用が想定される6つの場面ごとに利用意向を尋ねたところ、“家事（掃除、洗濯、料理など）をロボットが代行する”ことについて前向き（既に利用している、ぜひ利用してみたい、条件によっては利用を検討する）な回答が日本で75.3%と高く出た。この割合は米国、ドイツ、英国と同程度である（図表 I-5-1-10）。

また、米国、ドイツ、英国では、6つの利用場面いずれに対しても「利用したくない」と回答した割合が約30%と比較的大きくなっていた。

図表 I-5-1-10 暮らしや娯楽における場面別ロボット利用意向（家事（掃除、洗濯、料理など）をロボットが代行する）



(出典) 総務省 (2024)「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

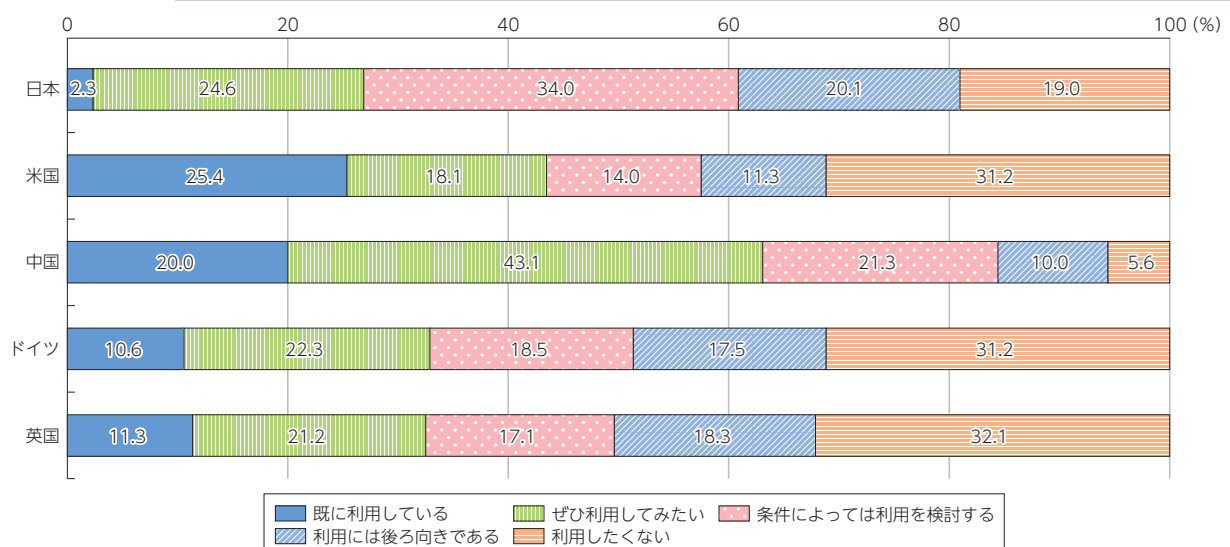
関連データ 暮らしや娯楽における場面別ロボット利用意向（他の利用場面）

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00072>
(データ集)

4 自動運転

完全自動運転車（ドライバー不在の運転が可能）の利用意向を尋ねたところ、日本では、設定した5つの場面いずれにおいても、「利用意向がある」（ぜひ利用してみたい、条件によっては利用を検討する）と回答した割合が約6割程度となっていた。一方、「利用したくない」と回答した割合は日本で約2割程度であったのに対し、米国、ドイツ、英国では約3割程度と、利用に後ろ向きな傾向がみられた（図表 I-5-1-11）。

図表 I-5-1-11 完全自動運転車の利用意向（完全自動運転の自家用車で通勤や普段の買い物、家族の送り迎え等を行う）



(出典) 総務省 (2024)「デジタルテクノロジーの高度化とその活用に関する調査研究」

関連データ 完全自動運転車の利用意向（他の利用場面）

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00074>
(データ集)

